

このまちの100年

「越谷」

越谷は江戸時代に日光街道の宿場町・越ヶ谷宿としてにぎわうようになり、明治期以降も発展。現在も歴史あるまち並みが残りつつ、大型商業施設なども多くあり、埼玉県東部地域の中心都市となっています。



昭和中期の越谷駅前通りの様子



越ヶ谷商店街。多くの商店の看板ににぎわう様子がうかがえる



越ヶ谷一丁目付近の家並み。バス停でバスを待つ人の様子も見える



蒲生中央通商店街。行き交う人々や商店に並ぶ商品の様子が見える

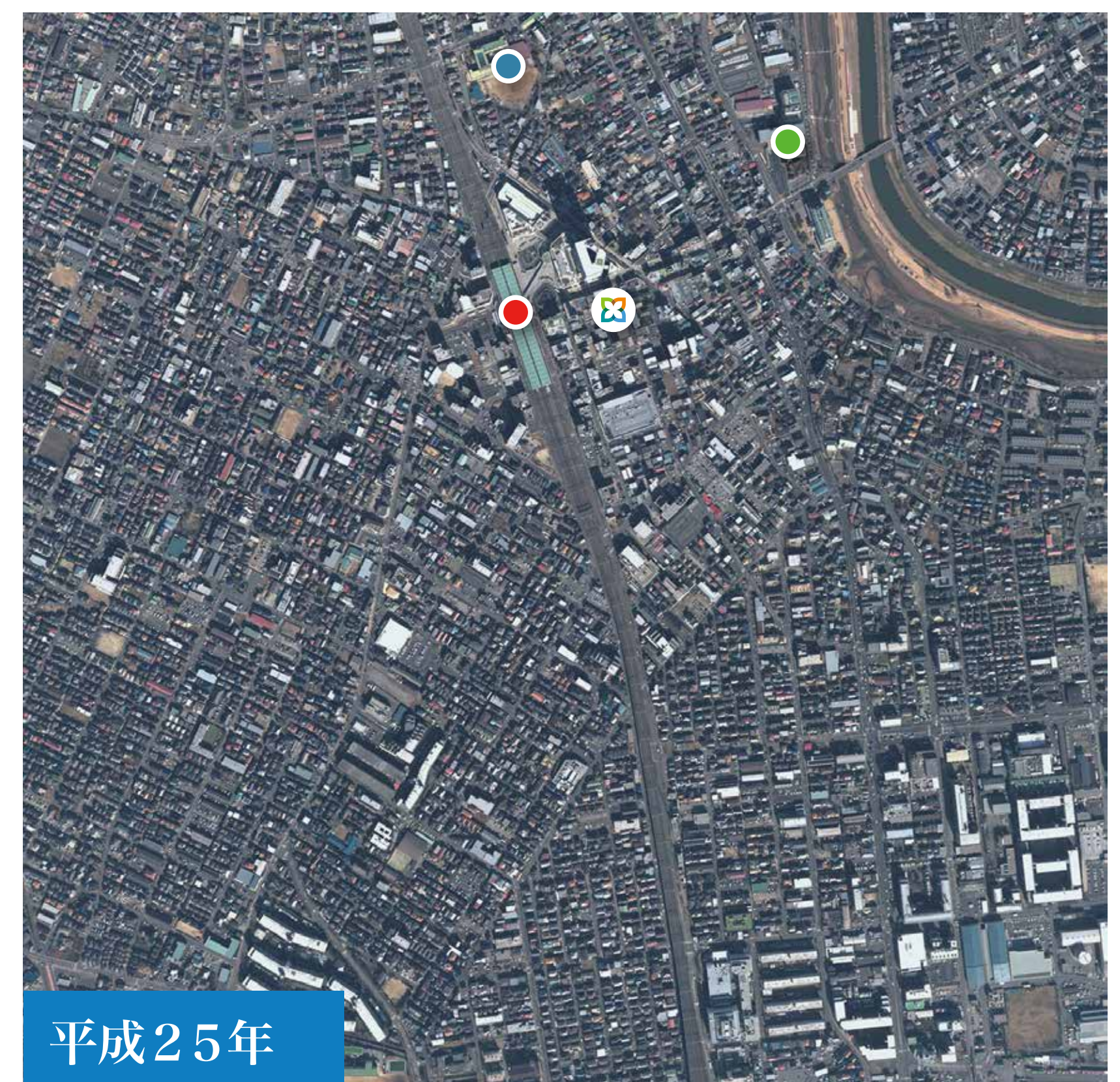
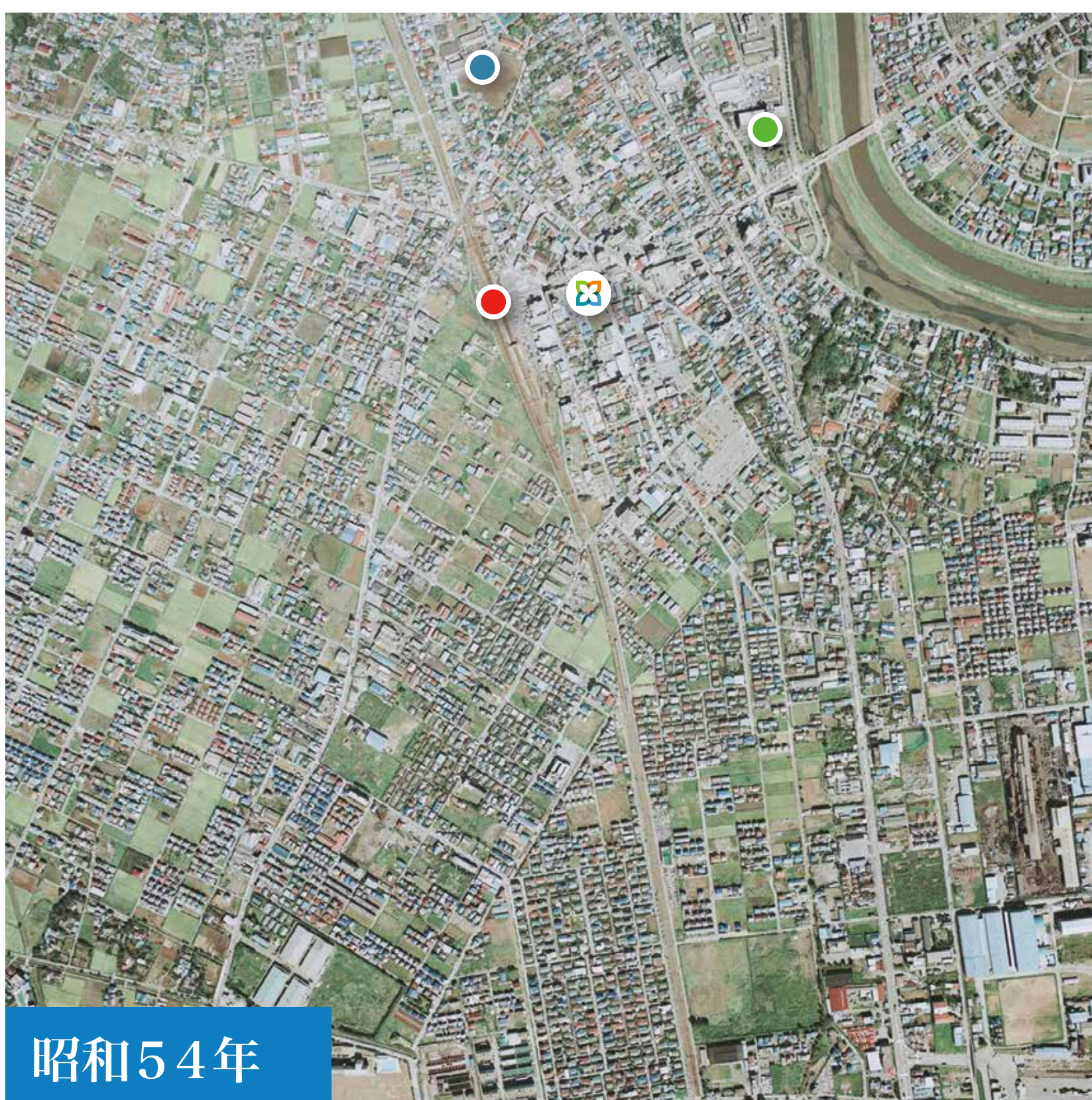


大沢橋寄りの商店街。かつての越ヶ谷宿の一部にあたる



昭和48年に武蔵野線が開通し南越谷駅(写真右)が開業。翌年、乗換駅として東武の新越谷駅が開業、平成期に高架化(写真左)が進められた

上空からみた越谷エリア



●：越ヶ谷町立越ヶ谷小学校／越谷市立越ヶ谷小学校 ●：越谷市役所 ●：越ヶ谷駅／越谷駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ